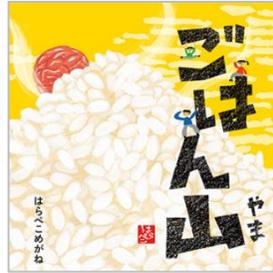


アベコベさんのかぞくは、すべてがアベコベです。おきるのは、まよなかだし、パジャマにきがえたとおもったら、2かいのベッドのうえで、ゆうごはんをたべはじめます。なんてアベコベで、ふしぎなかぞくなんでしょう！

『アベコベさん』

フランセスカ・サイモン／文
ケレン・ラドロー／絵 あおやま みなみ／訳
文化出版局



ごはんがだいすきなかぞくは、きょうもごはんをかこんでにこにこ。たきたてのごはんは、なんだかおやまのよう。うめぼしのつけて“すっぱやま”ふりかけかけて“しゃかしゃか山”。

『ごはん山』

はらぺこ めがね／著 白泉社



モンクターレさんは、みちがあるきにくいだとか、やまがじゃまだとか、いつももんくばっかり。まちのひとたちにも、ぶつくさもんくをいうもんだから、まちのひとたちは…。

『ぶつくさモンクターレさん』

サトシン／作 にしむら としお／絵
PHP研究所

みんなに人気の本から
選んだ絵本



えんぴつは、えをかくのがだいすき。ケシゴムは、けすのがだいすき。そんなせいはんたいのふたりが、なかよくなったらどうなるかな？

『えんぴつとケシゴム』

カレン・キルパトリック／文
ルイス・O・ラモス・ジュニア／文
ヘルマン・ブランコ／絵
たかばたけ まさゆき／訳 KADOKAWA



あるひ、わたしのいえに、みたことのないねこが、のっそりはいってきました。おとうさんは、かためがつぶれたそのねこに“タンゲくん”となまえをつけました。

『タンゲくん』

かたやま けん／作 福音館書店

幼児向け



さむいふゆのひ、きたのうみで、タテゴトアザラシのあかちゃんがうまれました。なまえはアニュー。うまれて2しゅうかんたったとき、おかあさんは、ほっきょくのうみへいってしまいました。アニューは、ひとりぼっちになってしまったのです。

『アザラシのアニュー』

あずみむし／作 童心社